

輸送ドライバーの 過労運転に潜む問題点について

物流技術研究会

平成21年6月17日

自動車運転手の改善基準告示

1988年(平成元年) 厚生労働省告示
2004年(平成13年) 国土交通大臣告示

拘束時間 (始業から終業まで)	基 本		1ヵ月について293時間以内 (ただし、労使協定があるときは、1年のうち6ヵ月までは1年間についての拘束時間が3,516時間を超えない範囲内において320時間まで延長可)
			1日について 13時間
	最大拘束時間		1日 最大 16時間まで (ただし、15時間を超えることができる回数は、1週間につき2回が限度)
	特例	2人乗務の場合	1日 最大20時間
隔日勤務の場合		1日 最大21時間 (ただし夜間に4時間以上の振替時間を与える場合は、2週間につき3回を限度に24時間まで延長可)	
休息期間	基 本		勤務終了後継続 8時間以上
	分割する場合		1日において、1回4時間以上で合計が10時間以上
	特例	2人乗務の場合	4時間まで短縮可
隔日勤務の場合		勤務終了後継続20時間以上	
運転時間	最大運転時間		2日平均で1日 9時間まで 2週平均で1週につき44時間
	連続運転時間		4時間を超えないこと
時間外労働	時間外労働協定(36協定)における一定時間は2週間及び1ヵ月以上3ヵ月以内の期間を協定		
休日労働	2週間で1回を超えないものとし、かつ、拘束時間は上記の範囲内		
フェリーの特例	勤務の途中でフェリーに乗船した場合は、フェリー乗船時間のうち2時間(フェリー乗船時間が2時間未満の場合には、その時間)については拘束時間として取り扱い、その他の時間については休息期間として取り扱う		
休憩時間 (労働基準法)	基本 (労働時間8時間超)	1時間以上	

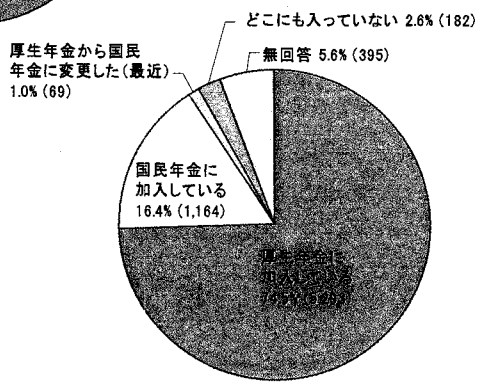
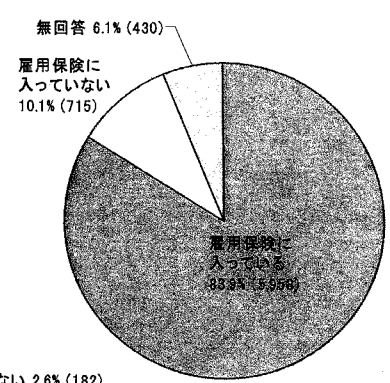
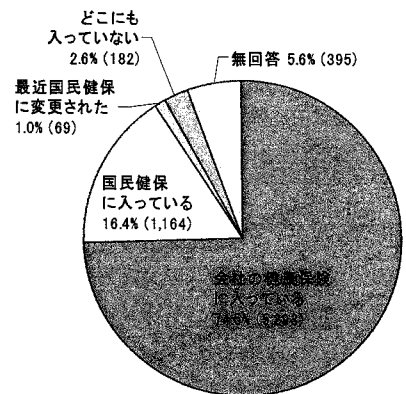
自動車運転者を使用する事業場における労働基準関係法令違反、改善基準告示違反の推移

	監督実施 事業場数	改善基準 告示違反 事業場数	総拘束 時間	最大拘束 時間	休息期間	最大運転 時間	連続運転 時間	休日労働
平成6年	2,581 (100.0)	1,377 (53.4)	420 (16.3)	925 (35.8)	570 (22.1)	354 (13.7)	949 (36.8)	52 (2.0)
平成7年	2,201 (100.0)	1,146 (52.1)	396 (18.0)	777 (35.3)	481 (21.9)	337 (15.3)	796 (36.2)	51 (2.3)
平成8年	2,028 (100.0)	1,095 (54.0)	360 (17.8)	750 (37.0)	474 (23.4)	313 (15.4)	780 (38.5)	43 (2.1)
平成9年	1,572 (100.0)	862 (54.8)	242 (15.4)	615 (39.1)	373 (23.7)	234 (14.9)	621 (39.5)	27 (1.7)
平成10年	2,051 (100.0)	1,104 (53.8)	290 (14.1)	735 (35.8)	487 (23.7)	267 (13.0)	841 (41.0)	41 (2.0)
平成11年	2,016 (100.0)	1,128 (56.0)	327 (16.2)	787 (39.0)	494 (24.5)	261 (12.9)	799 (39.6)	31 (1.5)
平成12年	1,880 (100.0)	966 (51.4)	321 (17.1)	691 (36.8)	458 (24.4)	255 (13.6)	680 (36.2)	38 (2.0)
平成13年	1,742 (100.0)	908 (52.1)	340 (19.5)	666 (38.2)	448 (25.7)	270 (15.5)	662 (38.0)	34 (2.0)
平成14年	1,915 (100.0)	1,047 (54.7)	404 (21.1)	750 (39.2)	505 (26.4)	312 (16.3)	735 (38.4)	50 (2.6)
平成15年	3,040 (100.0)	1,753 (57.7)	721 (23.7)	1,331 (43.8)	931 (30.6)	536 (17.6)	1,247 (41.0)	89 (2.9)
平成16年	3,036 (100.0)	1,761 (58.0)	734 (24.2)	1,352 (44.5)	938 (30.9)	528 (17.4)	1,163 (38.3)	86 (2.8)
平成17年	2,755 (100.0)	1,629 (59.1)	841 (30.5)	1,244 (45.2)	878 (31.9)	521 (18.9)	1,077 (39.1)	94 (3.4)
平成18年	2,792 (100.0)	1,644 (58.9)	896 (32.1)	1,336 (47.9)	931 (33.3)	507 (18.2)	1,033 (37.0)	100 (3.6)

資料：厚生労働省



アンケート調査結果からみた社会保険の負担状況



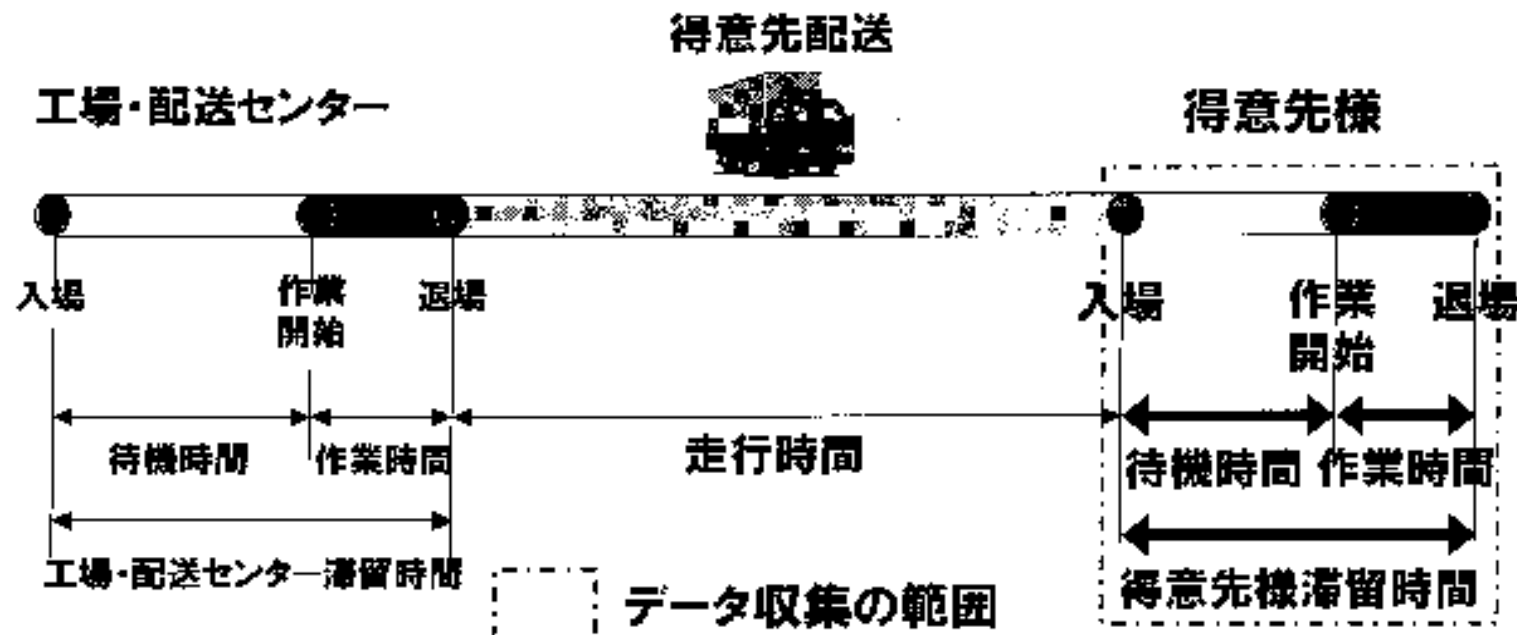
出所：運輸労連「2007年トラック運転者7,013名の証言(トラックドライバーアンケート)」



滞留時間とは

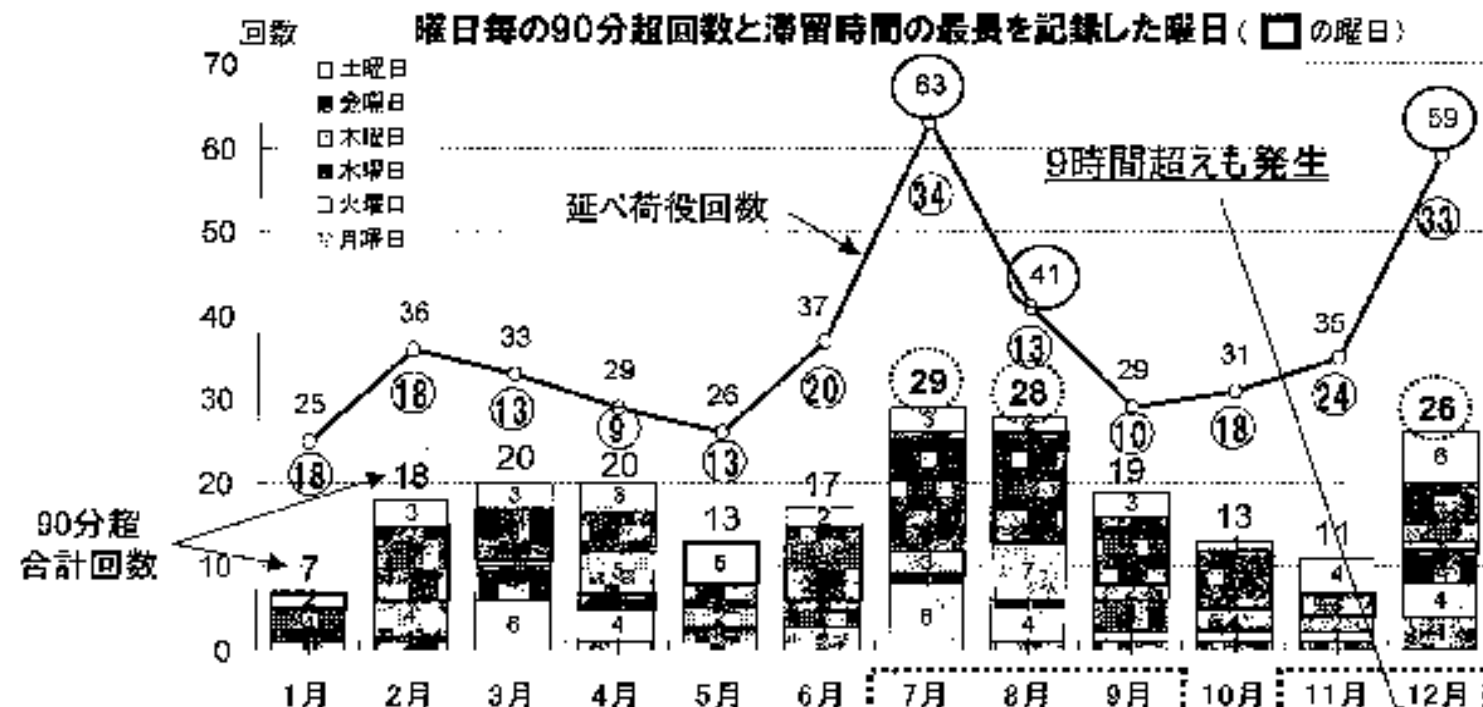
得意先様に到着、入場してから荷降しを完了して退場する迄に要した時間で、下記内容を含む全ての時間

- * 待機時間(積み降し作業に入るまでの時間)
- * 作業時間(積み降し及び検品などに費やす時間)



A 配送センター様 現状分析

- ・7、8、12月は荷役回数も多いが、90分超回数も多い
- ・最長を記録した平均滞留時間が年間平均より高いのは7・8・9・11・12月で、8月を除くと、月平均滞留時間との差においても年間平均より高い



最長を記録した曜日	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
最長記録曜日の平均滞留時間 ①	253分	145分	270分	232分	263分	227分	281分	320分	312分	209分	294分	565分	281分
月平均滞留時間 ②	112分	89分	142分	128分	115分	107分	117分	200分	152分	93分	79分	126分	122分
記録曜日と月平均との差 ①-②	140分	55分	127分	103分	148分	119分	163分	119分	159分	116分	214分	438分	159分